

# 83年3月 三里塚-国鉄決戦の爆発を きりひらくぞ ≡オ5回 成田支部大会ひらかれる≡

## 日刊 動労千葉

82.11.26

No. 1204

### 国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八(動力車会館)  
鉄電二九三五(公衆電話)三七七二〇七

\*\*\*\*\*

成田支部第五回定期大会は十一月二十日、十三時より運転区講習室において開催された。この一年間、臨調・行革攻撃と緊急十一項目を頂点とした組合破壊・解体に翼賛化の攻撃、さらには人勸凍結と仲裁未実施の攻撃など、われわれにとって一刻の油断も許せない、激しい情勢にあります。

### 支部通信・発

成田支部定期大会は、こうした情勢を切り開く鮮明な方針を確立し、圧倒的成功のうちに終了した。

——八三年政治決戦に勝利しよう——  
——日暮支部長 あいさつ——

大会は議長団に大野裕・石井一雄両氏を選出して進められた。冒頭、日暮支部長は、第一に、八一・三ジェットストライキで組合員に多くの処分が出され、さらに政府・当局・動労「本部」革マルによる組織破壊に対し、断固反撃にたちあがり、これらを粉砕した。第二に、十一・一一、三里塚集会是圧倒的成果をかちとり、権力や当局を震撼させた。この力で五七・一一ダイ改闘争に臨んだ結果、一定の成果をかちとった。第三に、新内閣が得意ようにも、八三年政治決戦に勝利しなければならぬ。その中心軸として、中江船橋選挙に総力をあげ勝利させよう。そのために、今日の大会を機に、一人ひとりが活動家になるよう訴えたとあいさつしました。

### 激励と連帯に多くの来賓がかけつける

大会には多くの来賓の方々がかかけつけ、連帯と激励のあいさつをうけました。

小川国彦衆議院議員から、「臨時国会は、仲裁と人勸の完全実施の確約がない限り、社会党は一切の審議に応じない」との決意が表明されました。つづいて、反対同盟の北原事務局長は、「革マルによる『密会』なる謀略、組織破壊に対し、同盟は総力をもって対決し粉砕する。中江候補当選にむけ、同盟もあらゆる支援をしていく。成田支部も権力・『本部』革マルのデッチ上げで攻撃がかげられているが、ぜひ粉砕し、共に連帯して闘い抜こう」と激励と決意を表明しました。

伊藤美代成田市議のあいさつにつづき、関川委員長が「五七・一一ダイ改」闘争における、動労「本部」革マルの裏切りを弾劾するとともに、「千葉地本」土屋一派を一掃しようといひさつしました。

来春の船橋市議選にたつ中江顧問の決意表明、高木家族組合会長のあいさつ、そして最後に、支



81.3ジェットストを全員力で闘いぬき、強く大きく前進してきた最前線拠点 成田支部。  
83年3月の三里塚-国鉄決戦の大爆発、勝利へ向け、決意あふれる挨拶の日暮支部長。

\*\*\*\*\*

援共闘会議代表より連帯のあいさつをうけました。

### 討論を深め、闘う方針案を確立

方針案は大須賀書記長が、第一に、臨調・行革・国鉄労働運動解体攻撃を全面的に受けてたち、当面する現協改悪・仲裁々定完全実施・緊急十一項目粉砕を掲げ、秋期ゼネストの爆発をかちとろう。第二に、労農連帯の旗のもと、三里塚二期着工阻止を全力で闘う。第三に、全人民の敵・動労「本部」革マルを一掃・追放し、動労大改革・戦闘的労働運動の再生をめざし断固闘う。第四に、八三年政治決戦の一環としてある地方統一選挙は、中江顧問の勝利と本部・支部推せん候補の全員当選をかちとる。との四点を重点目標に、八〇年代中期階級闘争の勝利をかちとるために、全組合員の全力投入で闘おうと提起しました。

質疑応答に入り、主に、①仲裁完全実施をはかるため、ILO提訴で労働側の全面的勝利が明らかになったが、見通しはどうか。②五七・一一「ダイ改」での他労組の交渉経過はどうか。等が出され、執行部答弁の後、満場一致の拍手をもって方針を確認しました。大会は、組合歌合唱と団結ガンパローをもって終了しました。